

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和2年10月6日

①学校名:	仙台大学		②所在地:	宮城県仙台市青葉区川平2丁目26番1号			
③課程名:	乳幼児運動あそび指導者育成プログラム		④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	H33.10.1	
⑥責任者:	体育学部教授 原田健次		⑦定員:	6名		⑧期間:	6ヶ月
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>近年、子どもを取り巻く環境は変化しており、子どもの心身の発達にも大いに影響を与えている。保育現場においては、子ども一人ひとりの発達段階や発達過程をその内面から理解し、子どもの思いを共感し、受け入れることが出来る保育の力を高め、子ども一人ひとりの健全なこころとからだを育む保育実践力が求められている。</p> <p>特に、子どものこころとからだを育むことのできる「運動あそび」を経験することの保育的意義は、技術指導に偏った「できるようになる」ためのものではなく、運動あそびを通して、楽しく、ワクワクする心が動く経験、また、「気づき」「発見」「創造」といった、子どもの興味・関心に基づいた自発的な心を育み、身体を動かすことが楽しく心地よいと感じ、自ら進んで主体的に体を動かし、運動の楽しさを味わうことである。</p> <p>本課程は、運動指導の実践力を高めたい保育者(幼稚園教諭・保育士)・幼児体育指導者等が乳幼児の運動あそび指導に必要な知識・技術及び技能を高める機会を拡大するため、大学における社会人向けの実践的・専門的な教育プログラムを提供することにより保育実践力の向上を目指すものである。</p>						
⑩4テーマへの該当の有無	女性活躍 地方創生	⑪履修資格:	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 ・社会人、特に保育者および幼児体育関連の職業に必要な能力の修得向上を求める人 				
⑫対象とする職業の種類:	幼稚園、保育所、認定こども園の保育者。小学校教員。放課後児童健全育成事業の従事者。幼児体育指導者。						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能)			(得られる能力)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力・運動能力に関する知識 ・子どもの健康と生活に関する知識 ・体育指導に関する知識 ・乳幼児期における運動あそびに関する知識、技能 ・保育実践の技術、技能 ・自己評価、自己省察の技能 			<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践に関する能力 ・幼児体育指導者に必要な実践的、専門的な総合能力 ・職場で指導力、実践力を伝えることができるリーダーシップ能力 			
⑭教育課程:	<p>子どもの健康領域から「子どもの生活と健康(健康課題)」や「子どものこころとからだの発達」に関する知識と保育現場における現状を知るとともに、保育実践に活かす「運動あそびの保育的意義」を明らかにすることで保育現場で求められる「運動あそびの指導計画づくり」を保育現場関係者、及び、幼児体育指導者派遣業界関係者とともに討議を行い意見公開等によるアウトプットを行うことで学び、気づきを整理し、知識を修得する。学んだ内容を振り返り、「フィールドワーク」実践として運動あそび実践「仲間づくりあそび」や「サーキットあそび」等の現場実践を行い、実践のための知識と技術を修得する。後半は各受講者の現場実践指導を題材にし、研究協議、グループ討議を行い、自己評価、自己省察の知識と技能を理解し、今後の実践力向上のための示唆を得ることが出来る教育課程になっている。</p>						
⑮修了要件(修了授業時数等):	教育課程の全科目を履修し合格すること(修了授業時間数:60時間)						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書						
⑰総授業時数:	60	時間	⑱要件該当授業時数:	54	該要件 企業等実務家 双方向 実地	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	90%
⑳成績評価の方法:	出席状況、レポート、プレゼンテーションの内容によって成績を総合的に評価する。						

①自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。また、職業実践力育成プログラム連携委員会にて本プログラムの実施状況、成果の検証や評価を行う。
②修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対しアンケート調査を実施し、その結果を分析することにより効果を検証する。
③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 幼稚園・保育園等の体育指導を専門とする企業及び幼稚園・保育園等の団体代表により組織する職業実践力育成プログラム連携委員会に置いて出された外部の意見を取り入れ教育課程の編成をする。 (自己点検・評価) 職業実践力育成プログラム連携委員会において、本プログラムの成果の検証、その他について自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。
④社会人が受講しやすい工夫:	土日開講、集中講義、オンライン受講を行い、やむを得ず欠席する社会人に対しては、ビデオ補講を行い内容をフォローする。
⑤ホームページ:	(URL) https://www.sendaidaigaku.jp/news.html?post=1628

事務担当者名:	只野健一	所属部署:	仙台大学 予算管理室
連絡先:	(電話番号) 0224-55-1036 (E-mail) shomu@sendai-u.ac.jp		

- *パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- *様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。